

徳田の歴史-10(無形)

小学生の登下校

1/2

●登校時の集合場所

昭和の初め頃(～20年代)徳田地区児童の登校時の朝の集合場所は主に徳田農協(現在のふれあい会館)の広場であった。

ある季節になると、この農協の広場は政府に出荷(供出)される米、麦、穀物等がたくさん並べられそれらを検査する人、運搬する人、又運搬のトラック等で大変混雑していました。

子供たちはその広場で全員が揃い、学校への出発時間が来るまで下記のような事をして遊ぶのです。

●朝の主な遊びの種類

①陣取り合戦

②馬乗り(どうま)

③みりん玉(ビー玉)/ボール投げ

④石温め(特に冬場、たき火で小石を温めポケットに入れ暖を取る)

⑤運搬トラックの燃料補給の手伝い

(当時トラックは木炭車だったのでファンを手で回し、炭を燃やして燃料を作る手伝いをした)

⑥冬場の雪合戦/追っかけっこ…等

※これが朝の皆の楽しみの場だったようです。

●学校に向けての出発(登校時)

時間が来て全員が揃うと出発し、まだ遊んでいる子供達がいると農協広場で仕事をしている大人が“いつまで遊んでいるのか、早く学校に行かんか”等… と言ってくれた。

※登校時は余裕時間がないので途中での道草は余りなかったと思います。

●下校時(帰り道)

①近くの土手や山にある木の実を食べる(グミの実、桑の実等)

②通り道の小川で魚取り、かに取り

③山でのきのこ取り

④冬場の田んぼでの氷すべり…等

※下校時はある程度の余裕時間があるので道草はかなりあったようです。

※特に下校の時間帯には、近くで農作業をしている大人は絶えず子供達を見守ってくれて道草をしている子供を見ると、“早く家に帰らんか”等と書いてくれた。

※現在は徳田農協もなくなり当時のような朝の賑わいは、ありませんが各地区の子供達はまとまってボランティアの方の交通安全等の指導も受けながら高学年を先頭に並んで元気に朝の挨拶をしながら登校して行きます。

又通学道路環境(道路舗装、部分的には歩道/横断歩道、防護柵、ガードレール、道路の緑ペイント、標識、草刈り等)も良くなり、道草的な事も減り、安全面も向上しています。



現在の通学道路環境

2016/12 月

H.A